

第10回

[日 時] 平成28年10月15日（土） 18:30-20:30

[場 所] 石巻専修大学5号館 3階学生ホール

[テーマ] 「茶道を日常生活に生かす」

[講 師] 石田 邦子 氏（表千家教授）

[使用したテキスト]

- ・『耕人』5-5.pdf（塾長から塾生へのメッセージ）

[活動内容詳細]

講話「茶道を日常生活に生かす」

1 茶道体験【60分】

(1) 茶道のお点前披露

石巻専修大学5号館3階学生ホールに畳を敷いた仮の茶室。床の間に見立てた空間に飾られた「和敬清寂」の掛け軸。花入に飾られたツワブキの花。客人をもてなすために前もって用意された茶道具一式…。

その茶室を囲むようにして、塾生をはじめ参観者全員が、先生の所作を静かに見つめ、先生の話をお心に聞き入っていました。また、「お先に頂戴いたします」「お点前頂戴いたします」「もう一服いかがでしょうか」「十分頂戴いたしました」といった相手のことを思う言葉を復唱するときも、大きな声で揃えて唱えることができました。飲み終えたときに口をつけたところを指でふくこと、懐紙で指をふくこと、一畳を6歩で歩くといった動作の意味や仕方についても学ぶことができました。



(2) お茶を飲む（塾生・保護者・指導教員が体験）

茶道体験は、講師の先生に一通りの説明をしていただいた後に始まりました。実際に、お茶をいただく場面では、一人一人が緊張した面持ちで取り組み、教えていただいた作法、一つ一つの動作に心を込めて行う姿が見られました。また、出されたお菓子（京都の銘菓「白川路」と山梨の銘菓「月の雫」）のおいしさに、思わず微笑む姿や笑顔がたくさん見られました。

茶道体験を通して、一つ一つの作法から、日本の思いやりの心、相手を思う心を学ぶことができました。当日は、石巻専修大学に通う留学生数名も参加し、日本の伝統文化に触れていました。



2 講話「茶道を日常生活に生かす」【20分】

はじめに、先生から「和敬清寂」という言葉について、次のようなお話がありました。

「『和敬清寂』には、お茶の真髓が含まれています。茶室に入った人たちが、和やかに、相手のことを敬うということです。茶碗の正面を外して飲むということは、茶碗を作った作家さんが一番見てほしい、または一番力を入れて作る（描く）ところで、正面を外すということはその作家さんをも敬うということ。それから、茶室に入ったら、やはり清い心で相手のことをよく思い出して（お茶を準備し）、そして、その清い心でそのお茶をいただくということ。この『和敬清寂』は、お茶の真髓だと言えます。」

次に、今日学ばせていただいた「お先に」という一言についてお話がありました。「お先に」という言葉には相手を思う心がふくまれていること、茶道では人との出会いを一生に一度のものと思い相手に対し最善を尽くすという「一期一会」という言葉があることも学ばせていただきました。

それから、利休百首（千利休）より抜粋された十首に教えていただきました。そのうちのはじめの四首はぜひ覚えてほしいというお話がありました。

一 その道に入らんと思ふ心こそ我身ながらの師匠なりけれ

（自発的に習ってみようという気持ちがあれば、その人自身の心の中にもうすでに立派な師匠ができています。）

二 ならひつつ見てこそ習へ習はずによしあしいふは愚かなりけり

（批評するならまずその対象になるものに自ら入り込まねばならない。口先だけの批評では人は納得しない。）

三 心ざし深き人にはいくたびもあわれみ深く奥ぞ教ふる

（熱心な弟子には親切な師匠であるべき。実の子に教えるが如く憐れみ深く細々と教えなさい。）

四 はぢをすて人に物とひ習ふべしこれぞ上手のもとなりける

（知らない事を恥ずかしいと思わず、師匠や先輩に質問しなさい。一時の恥ずかしささえ忍べばそれは一生の得となる。）

この四首を話した後、最後に先生は、次のように話されました。

「『利休百首』には、日常で使える言葉がたくさんあります。今回は日常生活に生かせるものを抜粋してきました。この中の一つでもいいから心に留めて日常生活に生かしてほしい。「お先に」という言葉

を遣えるようにしてほしい。今日、お茶を通して学んだことを、自分だけではなく周囲にも広げていってほしいと思います。」

お点前の作法を覚えてお茶をいただくだけが茶道ではなく、お茶の世界には「相手を思う心」や「おもてなしの心」が精神文化として存在することを感じた一日になりました。



3 班別討議【10分】

(1) 講師が伝えたかったことについて班別討議

(2) 班としてのまとめ・発表準備

「茶道を日常生活に生かす」について、各班で交流し合い、自分の考えをまとめていきました。



4 全体学習【10分】

メニュー

ホーム



耕人塾の活動



令和2年度の活動



令和元年度の活動



平成30年度の活動



平成29年度の活動



平成28年度の活動



第1回

第2回 実践活動

第3回

第4回 実践活動

第5回 実践活動

第6-7回 宿泊研修

第8回

第9回 実践活動

第10回

第11回

平成27年度の活動



平成26年度の活動



平成25年度の活動



平成24年度の活動

報道・受賞